

新景観条例を反故にする
京都プロジェクト（仮称）の高さ 60m ビル建設反対

陳情書

(陳情要旨並びに理由)

京都市は、京都駅ビルやホテルオークラ京都建設の是非などについて熱心な議論ののち、2007年9月、高さ規制の強化と6つの条例からなる「新景観政策」を実施しています。

新景観政策策定にあたり、当時の京都市長、京都商工会議所会頭、京都仏教会理事長などは記者会見や出版物で、市民の犠牲も考慮しながら、50年後100年後の京都市の環境・景観を良くし・保持するために、京都市の中心部の建物の高さを31mに規制しました（各界意見は添付付属書参照）。

2021年京都市発行リーフレット「新景観政策」時を超え光り輝く京都の景観づくり」の高度指定概要図では、京都駅北の建物の高さは31m以内と制限しています。

京都市情報館によると、新景観政策により建物の高さ31m規制の範囲内にある京都中央郵便局などの跡地に高さ60mの建物を建てる計画の京都プロジェクト（仮称）に係る配慮書案に対する答申が出されています。

京都プロジェクト（仮称）による高さ60mのビル建設は、広範囲な京都市民などの意見を取り入れ、長い議論の末作成され18年間守られてきた新環境政策の31m高さ規制を反故にするものです。京都プロジェクト（仮称）の高さ60mビル建設に反対します。

NHK（2025年3月11日）によると、京都プロジェクト（仮称）の建設事業主体である日本郵便株式会社は、その近畿支社管内にある178郵便局のうち約140の郵便局において、事業用車両の運転者に対するアルコールチェックを適切に実施せず、点呼を装う虚偽を記録していたと国土交通省が発表しています。郵便物の運送・配達事業を目的とする日本郵便株式会社は、主要業務である郵便物運送での市民の安全への配慮を欠いており、京都市の景観や市民へ配慮し京都プロジェクト（仮称）を進める事業者としての適格性に欠けます。

日本郵便株式会社が、高さ60mの建物を京都駅前に建てることは、新景観政策の不可逆的な破棄であり容認できません。

(陳情項目)

新景観条例を反故にする京都プロジェクト（仮称）の高さ60mビル建設に反対します。

2025年9月 11日

京都市議会議長 下村あきら様

請願者住所 〒6008344 京都市下京区柳町 335
請願者

大屋 峻（代表者・連絡先）

伊藤 要

古澤 房子（あいうえお順）
知ってはる？中央郵便局高層化！を考える会

付属書（新景観政策策定時の市長・商工会議所会頭・京都仏教会理事長の意見など）

● **平成 19 年 1 月 30 日梶本市長臨時記者会見 抜粋**

市民の皆様からいただきました主なご指摘を類型別に紹介いたしますと、総論としては、「速やかな実現を望む」「新しい規制が後退しないように」といった多くのご意見をいただく一方、「もっと時間をかけて論議すべきである」「規制により都市の活力や資産価値が低下する」などのご意見もいただいております。また、高さ規制については、既存不適格のマンションの建て替えを懸念する声が寄せられました。

都市のアイデンティティの確立は激化する都市間競争を勝ち抜き大きな要素であります。日本の文化首都である京都にとって、優れた景観はむしろ京都の都市格、言い換えれば京都ブランドに一層の磨きをかけ、都市の活力や魅力を向上させ、ひいては不動産の価格形成にも良い影響を及ぼすと考えており、市民の皆様にもご理解を賜りたいと存じます。

今回の高さ規制につきましては、直ちに既存のマンションなどに適用されるものではなく、むしろ時間をかけて緩やかに優れた景観を形成しようとするものであります。

● **京都市の景観政策に賛成 村田・京都商議所会頭 2007.01.24 読売新聞大阪**

新景観政策に対し、村田純一会頭は 2 3 日の定例記者会見で、

「賛成の立場をとりたい。(会議所のメンバーは) 個々では反対する人もあらうと思うが、基本的にはいい条例」。戦後、自由という名の下に乱開発され、京都のまちが汚くなった。一挙によくするのは無理だが、建て替え時に基準にのっとることで 30、50 年かけ、再びきれいにする試み」と評価。

マンション業界などから批判が出ていることに触れ、「損する人も出るが、全体のために町をよくしようという思いなので、個々の利益は多少我慢してもらおうことが市民の合意された意見となると思う」と話した。

● **京都仏教会理事長 有馬 頼底**は「京都の景観保護と将来の町づくりについて」の

「はじめに」の中で

歴史的宗教都市京都の景観問題が、最近京都にのみ止まることなく、日本全国、世界各国にまで及び、次第に活発化してきております。この事実は、京都という都市が 1200 年の歴史に培われ、日本人の心の故郷であり、世界有数の文化都市である事を如実に物語っています。

京都仏教会では、それ等の諸問題に深く心を致し、京都の特性を生かし、調和のとれた都市の発展を望む立場から、ビルの高層化問題をはじめ、京都の景観保護と、将来の町づくりにつき、皆様に提言致したいと存じます。